

こどもを真ん中に、学校・保護者・地域と「つながる」「3Y」通信



矢口ニュース

令和8年5月13日（水）No.6

学校内外の様子を、「やってみよう!」「やさしく、げんきに」「やりぬこう!」のテーマを中心に、よりタイムリーに発信していきます。

「できた!」「分かった!」「もっとやってみよう!」の 3つの観点に基づく個別指導計画の書式について

文部科学省が定めている学習指導要領では子供たちの生きる力を育むため、『「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの観点をバランスよく育みましょう』としています。本校では、個別指導計画の「目標」部分をこの「3つの観点」で記載しています。

個人面談等で保護者の皆様と一緒に今年度の目標を共有し、子供たちの「できた（知識及び技能）」「分かって活用できた（思考力、判断力、表現力等）」「もっとやってみよう!（学びに向かう力）」の3つの観点をバランスよく育む授業を心掛けていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



文部科学省ホームページより

教科等	目標	
国語	・好きな物の名前を聞いて、その物へ視線を向けたり、指さしをしたりできる。	① 知識及び技能 前期で身に付けたい知識及び技能
	・身近な人からの簡単な言葉掛けに注目し、発声や身振りなどで応じて答える。	② 思考力、判断力、表現力等 上記①を「分かって活用する力」
	・読み聞かせ等の中で、言葉がもつ楽しさに触れ、教員と一緒に活動しようとする。	③ 学びに向かう力、人間性等 家庭や地域でも「やってみよう」とする力

個別指導計画・目標例（小学部低学年）

（道徳、日常生活の指導、自立活動以外を3観点で表記しています）

